

資料編

目次

1	港区が行っている生物多様性に関連する取組	資 - 1
2	港区生物多様性地域戦略の策定経過	資 - 8
3	港区生物多様性推進委員会	資 - 9
4	港区みどりの検討委員会	資 -12
5	いきもの作戦会議結果概要	資 -16
6	区民意見の募集結果	資 -23
7	表層地質	資 -24
8	土地利用の変遷	資 -25
9	現況の土地条件	資 -33
10	港区とその周辺の緑地分布	資 -34
11	現存植生	資 -35
12	保護樹木・樹林	資 -36
13	自然教育園の生きもの	資 -37
14	絶滅危惧種の分布状況	資 -38
15	外来種	資 -39
16	植物の帰化率	資 -40
17	参考になるウェブサイト	資 -41

1 港区が行っている生物多様性に関連する取組

(1) 「目標1 生物多様性を学ぶ機会が増え、理解が浸透している」に関連する取組

表 1-1 「行動方針(1) 生物多様性について知ろう・伝えよう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
エコ☆ボラキッズ	小学生が、緑のカーテンづくり、野菜や花づくり、隣接する公園や近隣のゴミ拾い、リサイクル活動などを行います。	飯倉学童クラブ
エコクラブ	小学生が、「都会の生きもの探検」、「干潟観察」、「生きものや緑を増やそう大作戦」など、毎月テーマを決めて活動しています。児童館敷地内のビオトープの手入れ、緑のカーテンの栽培も行います。	青山児童館
きらきらエコクラブ	小学生が、緑のカーテンづくり、打ち水、環境学習、リサイクル等のPR活動、地域清掃活動などを行います。	豊岡児童館
ベイエリアカレッジプロジェクト (江戸前みなと塾)	東京海洋大学との連携事業で、芝浦港南地区の区民が、東京湾（江戸前の海）について学び、考えます。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
「落語と園芸講座」 江戸町人と江戸野菜	区民が、落語を通して江戸時代の食文化やエコを学び、その中に登場する江戸野菜についての講義と、雑司ヶ谷ナスの植え付けと栽培方法を学びます。	芝浦港南 区民センター
金魚博士教室	台場地域在住の親子が、金魚の生態および飼育の方法を学ぶとともに、親子参加型の「金魚すくい体験」を実践します。	台場区民センター
エコレンジャー	小学生が、お台場干潟などの観察やアマモの育成、地引網などを実施しています。そのほか、児童館独自で生きものの育成や観察などを、定期的に楽しみながら学習します。	台場児童館
エコライフ・フェア MINATO	地球環境の保全や良好な生活環境の確保など、環境について区民を啓発するイベントを開催しています。	環境リサイクル支援部 環境課
みんなと生きもの調査隊	区立小学校の3・4年生が、夏休みを利用して生きもの調査を行います。	環境リサイクル支援部 環境課

表 1-2 「行動方針(2) 自然とのふれあいを増やそう」に関連する取組(1/2)

事業名	事業概要	担当
港区民交流ガーデン事業	区民による区立芝公園の花壇管理を支援しています。	芝地区総合支所 まちづくり担当
環境と平和を考え 地域の交流を深める事業	茨城県阿見町の農家の協力を得て、芝地区の小中学生と保護者、高齢者が、農作業体験や自然観察などを通じて、収穫の喜びを地域の方と共有し、自然の大切さを学びます。	芝地区総合支所 まちづくり担当
麻布アートフェスタ 「感動！セミの羽化」	身近な自然にあるアートを体験するイベントとして「感動！セミの羽化」を開催し、区民がセミの羽化を観察します。	麻布地区総合支所 管理課
港区赤坂・青山地区と 郡上市の子どもたちの 交流事業	赤坂地区の小学生が、岐阜県郡上市を訪れ、川遊び体験、食育体験、郡上踊り体験、郡上市八幡町散策等、様々な体験をします。	赤坂地区総合支所 協働推進課

表 1-2 「行動方針(2) 自然とのふれあいを増やそう」に関連する取組(2/2)

事業名	事業概要	担当
春を探しに	小学生が、緑の残る都営アパートの敷地を散策し、植物や生きものを調べます。	青山児童館
亀塚公園タンポポ保全区の解説業務	4月～5月のタンポポ開花時期に、亀塚公園ビオトープ（タンポポ保全区）を開放し、公園利用者が、カントウタンポポやその生育地を保全する意義などを学ぶ場を提供しています。	高輪地区総合支所 まちづくり担当
秋田県にかほ市交流事業	わが国初の南極探検隊、白瀬隊長の出身地である秋田県にかほ市との交流事業として、芝浦港南地区の小学生が、農作業や湿地散策を行い、自然を体験します。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
みどりがつなぐ交流事業	芝浦港南地区の町会、自治会等の地域との協働で、田んぼでの稲の栽培、みどりのカーテンの育成等を通じて、区民が身近なところで交流する機会と場所を設けています。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
あいぷら・シー	館内に海水水槽を常設し、共生する様々な海の生きものを展示しています。また、東京湾で採った生きものを展示し、利用者とスタッフで世話をします。	芝浦アイランド 児童高齢者 交流プラザ
ガーデニングイベント	イベント参加者が中庭などで花や野菜を植えます。また、花を利用して押し花のしおりをつくり、お茶会でガーデニングや野菜に関する意見交換をします。	港南いきいきプラザ
海の科学を学ぼう	小学生が、東京海洋大学の学生と一緒に、様々な体験活動を通して、「海や水、海にすむ生きもの」について楽しみながら学びます。	港南子ども 中高生プラザ
野菜づくり・緑のカーテン育成	小学生が、野菜や花を植えて育てる体験、収穫物を調理して食する体験をします。緑のカーテンをつくることで自然の力で涼みます。	台場児童館
子どもの遊び場づくり事業（プレーパーク事業）	子どもがのびのびと思い切り遊べるように、禁止事項をできるだけ少なくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに、自然の中で子どもがやりたいことを、自分自身の手で実現していく冒険遊び場（プレーパーク）づくりに取り組んでいます。	麻布・高輪・芝浦港南 地区総合支所まちづくり 担当、街づくり支援 部土木計画・交通担当
あきる野市での自然体験	保育園児や小学生、保護者が、農業体験、川辺の水生物、棚田の昆虫の観察などを行います。	保育園、児童館、学童 クラブ、子ども中高生 プラザ
港区緑と生きもの観察会・調査会	区民を対象に、身近な公園で生きものについて学ぶ観察会・調査会を開催しています。	環境リサイクル支援部 環境課
みなと区民の森づくり	あきる野市から約20haの市有林を借り受け、「みなと区民の森」として、区民・事業者・区が協働で、間伐・下刈りなどを行っています。また、自然観察、炭焼きなどの環境学習も行っています。	環境リサイクル支援部 環境課
～東京湾 自然と人～ 見て・さわって・学ぼう！ 夏休み学習会	東京海洋大学との連携事業で、小中学生と保護者を対象に、東京湾の自然と人をテーマにした教育普及目的の学習会を開催しています。	教育委員会事務局 図書・文化財課

表 1-3 「行動方針(3) 生物多様性を保育や教育の現場で伝えよう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
なんで〜も菜園！ 野菜を育ててクッキング	幼児と保護者が、野菜を育て収穫し、自らが育てた野菜を調理する喜びを学びます。	赤坂子ども 中高生プラザ
ビオトープづくり、 野菜・草花の栽培	園児が、ビオトープづくりや野菜・草花の栽培を行います。	芝浦アイランド こども園
自然教室	保育園児と職員が、台場地区の海や公園を散策し、季節ごとの自然を実際に観察して、肌に触れながら学びます。	台場保育園
環境教育事業	保育園児が、花や野菜の栽培、金魚やカブトムシ、スズムシを飼育します。	保育園
野菜の栽培と調理	保育園児と職員が、作物の種や苗をプランターに植え、水やりや世話をします。そして、それらの作物を収穫、調理します。	保育園
食育事業	保育園児が、田んぼや畑をつくり、稲を植え、野菜を栽培し、植物の成長を観察します。	保育園

(2) 「目標2 生物多様性に配慮した暮らし・仕事が営まれている」に関連する取組

表 1-4 「行動方針(1) 暮らしから変えていこう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
緑のカーテンプロジェクト	節電等の省エネルギー化とヒートアイランド現象への対策に有効な「緑のカーテン」を区民等に普及させるため、区有施設に緑のカーテンを設置するとともに、講習会や苗の配布を行っています。	環境リサイクル支援部 環境課、区有施設
みなとエコチャレンジ	環境にやさしい自発的な行動やイベントへの参加に対して、ポイントを付与し、家庭における環境にやさしい行動の実践と定着を支援し、二酸化炭素排出量の削減を促進しています。	環境リサイクル支援部 環境課
エコライフ・フェア MINATO (再掲)	地球環境の保全や良好な生活環境の確保など、環境について区民を啓発するイベントを開催しています。	環境リサイクル支援部 環境課
みんなと3R活動	循環型社会をめざし、「ごみを減らす」(Reduce)、「繰り返し使う」(Reuse)、「資源として再利用する」(Recycle)の3Rを推進するために、区民、事業者と区が協働して取組を進めています。	環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃 事務所

表 1-5 「行動方針(2) 生物多様性に配慮して働こう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
新エネルギー・省エネルギー機器等設置費助成事業	新エネルギー機器、省エネルギー機器等を設置する区民、中小企業者、マンション管理組合等に、設置費用の一部を助成しています。	環境リサイクル支援部 環境課
みなとモデル森林整備促進事業	公共施設・民間建築物での協定木材等の使用を促進し、その使用量に応じた二酸化炭素固定量を認証する「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を運用しています。	環境リサイクル支援部 環境課
みなと森と水会議	区と協定を締結した 69 自治体によるサミットの開催や、区民を対象とした講演会、ワークショップなどを行っています。	環境リサイクル支援部 環境課
みなと環境にやさしい事業者会議 (mecc)	区民の環境情報を促す協力者として、エコアクションの担い手として、またエコムーブメントの発信主体としての役割を持つ、区や事業者、大学などによる協働のネットワークです。	環境リサイクル支援部 環境課

(3) 「目標3 自然や生きものと共存できるまちづくりが進んでいる」に関連する取組

表 1-6 「行動方針(1) 身近な自然をつくり、つなげ、生きもののすみかを豊かにしよう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
生け垣造成の助成	土地の所有者または管理者が、生垣を造成するとき、費用の一部を助成しています。	各総合支所 まちづくり担当
屋上等緑化の助成	建築物の所有者が、建築物の屋上、壁面に新たな緑化をするとき、費用の一部を助成しています。	各総合支所 まちづくり担当
緑のカーテン講習会	区民が、緑のカーテンを利用した蒸散作用によるヒートアイランド現象の緩和や、生物多様性の保全について学びます。	環境リサイクル支援部 環境課
公共及び民間施設の緑化	公共及び民間施設の建築時に、区の緑化基準に基づき緑化するよう指導しています。	環境リサイクル支援部 環境課
民間緑化施設の表彰制度	民間建築物の緑化施設のうち、特に優れたものを「港区みどりの街づくり賞」として表彰しています。	環境リサイクル支援部 環境課

表 1-7 「行動方針(2) 地域本来の自然を守り育てよう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
カルガモプロジェクト 推進事業	区民等が、芝浦西運河に、カルガモの人工巣と休憩所を設置しました。芝浦の運河でたくさん見ることができたカルガモの姿を取り戻すとともに、水辺の魅力を感じ、高めていくための取組です。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
お台場ふるさとの 海づくり事業	お台場学園港陽小学校の児童や芝浦港南地区の保育園・幼稚園児が、海で水生生物を観察し、保護者や地域の方々と一緒に海苔づくりに取り組んでいます。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
保護樹木・樹林の指定・ 補助	保護樹木・樹林を指定し、維持管理に要する費用の一部を助成しています。	各総合支所 まちづくり担当
ビオトープづくりの推進	公園や児童遊園などの新設や改良にあわせ、小鳥や昆虫などの身近な生きものがすめる空間を確保し、地域の生物多様性の保全・再生の拠点づくりを進めています。	各総合支所まちづくり 担当、街づくり支援部 土木課

表 1-8 「行動方針(3) 外来種による生態系への影響を防ごう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
該当なし	—	—

表 1-9 「行動方針(4) 生態系や気象などを調べ、自然環境の改善に役立てよう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
亀塚公園タンポポ保全区 のタンポポ株数調査	亀塚公園ビオトープ（タンポポ保全区）の在来タンポポ（カントウタンポポ・シロバナタンポポ）を保全するための基礎調査として、在来タンポポ・外来タンポポの開花状況や植生概況を調査しています。	高輪地区総合支所 まちづくり担当
三田台公園ビオトープの 植生調査	多様な動植物にとって利用しやすい環境となるように、三田台公園ビオトープを適切に維持管理するための基礎調査として、ビオトープの植生調査等を行っています。	高輪地区総合支所 まちづくり担当
古川・運河の水質調査	毎月、古川と運河の水質を調査しています。	環境リサイクル支援部 環境課
港区生物現況調査	区内に生息する生きものの現況を調査し、生きものと共生できるまちづくりを進めるため、動植物を対象とした生物現況調査を行っています。	環境リサイクル支援部 環境課
港区みどりの実態調査	おおむね5年ごとに、区内の樹木や緑地等の緑と、湧水等の自然の水の実態を調査しています。	環境リサイクル支援部 環境課

(4) 「目標4 地域内外で協働の取組が進み、まちの魅力が高まっている」に関連する取組

表 1-10 「行動方針(1) まちの生物多様性の恵みを活かそう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
お台場ふるさとの海づくり事業（再掲）	お台場学園港陽小学校の児童や芝浦港南地区の保育園・幼稚園児が、海で水生生物を観察し、保護者や地域の方々と一緒に海苔づくりに取り組んでいます。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課

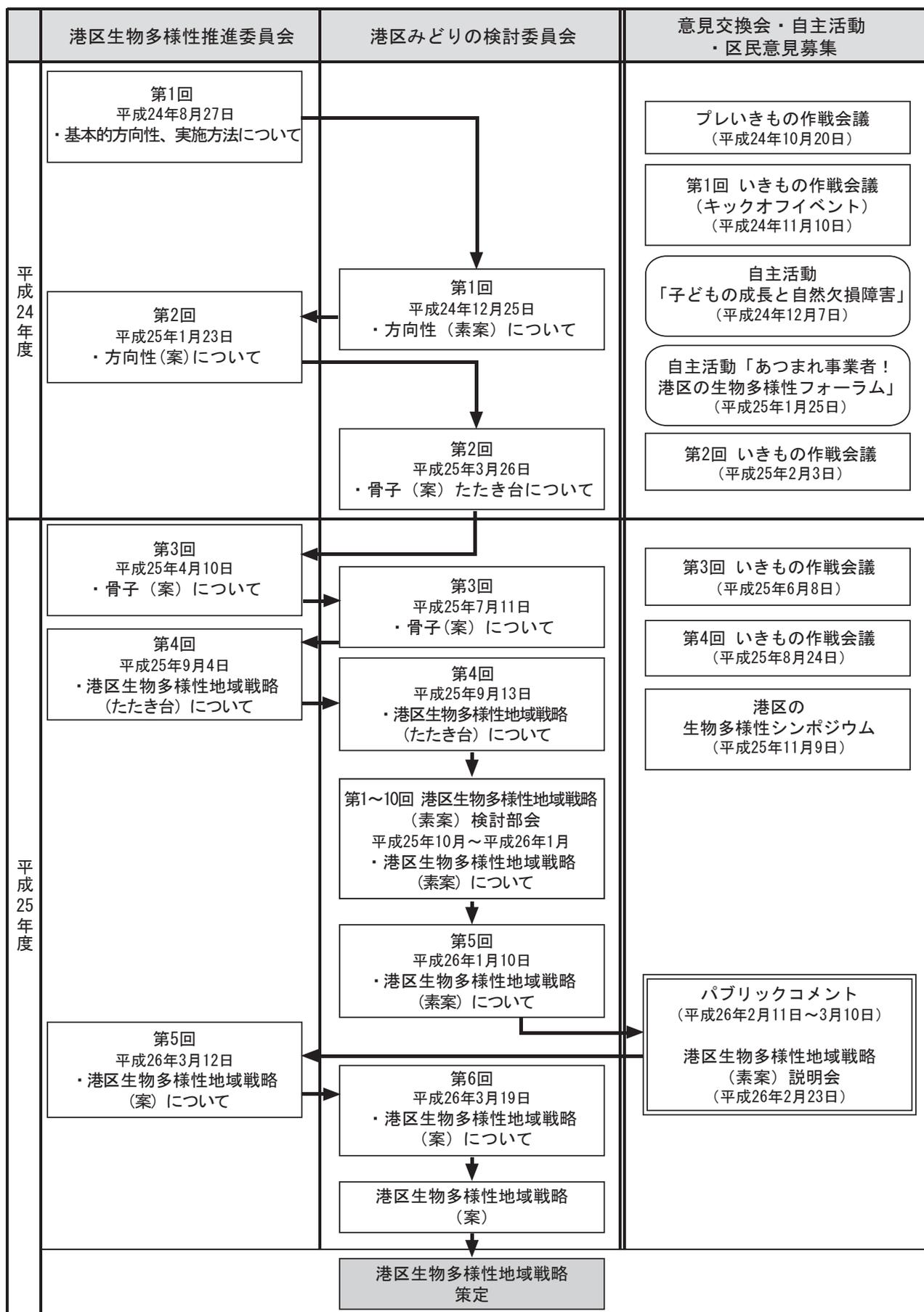
表 1-11 「行動方針(2) 地域内外のつながりを強めよう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
港区民交流ガーデン事業（再掲）	区民による区立芝公園の花壇管理を支援しています。	芝地区総合支所 まちづくり担当
環境と平和を考え地域の交流を深める事業（再掲）	茨城県阿見町の農家の協力を得て、芝地区の小中学生と保護者、高齢者が、農作業体験や自然観察などを通じて、収穫の喜びを地域の方と共有し、自然の大切さを学びます。	芝地区総合支所 まちづくり担当
港区赤坂・青山地区と郡上市の子どもたちの交流事業（再掲）	赤坂地区の小中学生が、岐阜県郡上市を訪れ、川遊び体験、食育体験、郡上踊り体験、郡上市八幡町散策等、様々な体験をします。	赤坂地区総合支所 協働推進課
秋田県にかほ市交流事業（再掲）	わが国初の南極探検隊、白瀬隊長の出身地である秋田県にかほ市との交流事業として、芝浦港南地区の小中学生が、農作業や湿地散策を行い、自然を体験します。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
みどりがつなぐ交流事業（再掲）	芝浦港南地区の町会、自治会等の地域との協働で、田んぼでの稲の栽培、みどりのカーテンの育成等を通じて、区民が身近なところで交流する機会と場所を設けています。	芝浦港南地区 総合支所協働推進課
あきる野市での自然体験（再掲）	保育園児や小学生、保護者が、農業体験、川辺の水生生物、棚田の昆虫の観察などを行います。	保育園、児童館、学童クラブ、子ども中高生プラザ
みなと区民の森づくり（再掲）	あきる野市から約 20ha の市有林を借り受け、「みなと区民の森」として、区民・事業者・区が協働で、間伐・下刈りなどを行っています。また、自然観察、炭焼きなどの環境学習も行っています。	環境リサイクル支援部 環境課
みなと森と水会議（再掲）	区と協定を締結した 69 自治体によるサミットの開催や、区民を対象とした講演会、ワークショップなどを行っています。	環境リサイクル支援部 環境課

表 1-12 「行動方針(3) みんなで活動をひろげ進めていこう」に関連する取組

事業名	事業概要	担当
港区アドプト・プログラム	区民と事業者が行う公園等の花壇への花植え、手入れの活動を支援しています。	各総合支所 まちづくり担当
港区みどりの活動員制度	民間緑地の維持管理やみどりに関する知識の普及啓発活動に自主的に取り組む区民・事業者を支援しています。	各総合支所まちづくり 担当、環境リサイクル 支援部環境課
みなと森と水会議（再掲）	区と協定を締結した 69 自治体によるサミットの開催や、区民を対象とした講演会、ワークショップなどを行っています。	環境リサイクル支援部 環境課
みなと環境にやさしい事業者会議（mecc）（再掲）	区民の環境情報を促す協力者として、エコアクションの担い手として、またエコムーブメントの発信主体としての役割を持つ、区や事業者、大学などによる協働のネットワークです。	環境リサイクル支援部 環境課

2 港区生物多様性地域戦略の策定経過



3 港区生物多様性推進委員会

(1) 構成

委員会役職	氏名	所属等	備考
委員長	一ノ瀬 友博	慶應義塾大学 教授 港区緑と水の委員会 委員	学識経験者委員
副委員長	中村 俊彦	千葉県立中央博物館 副館長 港区緑と水の委員会 委員	学識経験者委員
委員	川廷 昌弘	株式会社 博報堂 (港区在勤)	公募委員
委員	草刈 秀紀	公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン (港区在勤)	公募委員
委員	河野 博	東京海洋大学 教授	学識経験者委員
委員	芳賀 勲	港区緑と水の委員会 区民委員	学識経験者委員
委員	土方 直美	株式会社 オリコム (港区在勤)	公募委員
委員	平川 幸子	港区緑と水の委員会 区民委員	学識経験者委員
委員	本田 裕子	大正大学 専任講師	学識経験者委員
委員	梶中 多賀子	港区環境リーダー (港区在住) 港区3R推進行動会議委員	公募委員
委員	三井 知之	港区立本村小学校 校長	学識経験者委員
委員	峰崎 善次	みなと環境にやさしい事業者会議 (森ビル株式会社)	環境団体関係者委員
委員	村上 暁信	筑波大学大学院 准教授	学識経験者委員
委員	矢野 亮	国立科学博物館附属自然教育園 名誉研究員	学識経験者委員
委員	山田 順之	鹿島建設株式会社	事業者委員

※委員は 50 音順

(2) 設置要綱

第1条 生物多様性基本法（平成20年法律第58号）第13条及び港区みどりを守る条例（昭和49年港区条例第29号）に基づき、港区における生物多様性に関する施策の総合的な推進に必要な事項について協議するため、港区生物多様性推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、その結果を区長に報告する。

- (1) 港区生物多様性地域戦略の策定に関すること。
- (2) 港区生物多様性地域戦略の推進に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を推進するために必要な事項

（構成）

第3条 委員会は、次に掲げる者で、生物多様性に関して識見を有するもののうちから区長が委嘱する委員15人以内をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 区民
- (3) 事業者
- (4) 環境団体等関係者

（委員の任期）

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学識経験者のうちから委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、会務を統括する。
- 4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する

(運営)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長が決するところによる。

4 委員会の会議は、公開とする。ただし、委員長が必要と認める場合は、非公開とすることができる。

(意見聴取)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して委員会への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、委員会の審議において知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、環境リサイクル支援部環境課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

付 則

この要綱は、平成24年8月15日から施行する。

4 港区みどりの検討委員会

(1) 構成

委員会役職	所 属
委員長	環境リサイクル支援部長
副委員長	街づくり支援部長
委 員	芝地区総合支所まちづくり担当課長
委 員	麻布地区総合支所まちづくり担当課長
委 員	赤坂地区総合支所まちづくり担当課長
委 員	高輪地区総合支所まちづくり担当課長
委 員	芝浦港南地区総合支所まちづくり担当課長
委 員	街づくり支援部都市計画課長
委 員	街づくり支援部開発指導課長
委 員	街づくり支援部建築課長
委 員	街づくり支援部土木課長
委 員	街づくり支援部土木計画・交通担当課長
委 員	街づくり支援部土木施設管理課長
委 員	環境リサイクル支援部環境課長
委 員	企画経営部企画課長
委 員	企画経営部施設課長
委 員	防災危機管理室防災課長
委 員	教育委員会事務局庶務課長
委 員	教育委員会事務局学校施設担当課長

(2) 港区生物多様性地域戦略（素案）検討部会 構成

部会役職	所 属
部会長	環境リサイクル支援部環境課長
副部会長	芝地区総合支所まちづくり担当課長
部会員	街づくり支援部都市計画課長
部会員	街づくり支援部土木計画・交通担当課長
◎ 部会員	環境リサイクル支援部地球温暖化対策担当課長
◎ 部会員	環境リサイクル支援部 みなとりサイクル清掃事務所長

◎ 港区みどりの検討委員会委員長が指名した部会員

(3) 設置要綱

港区みどりの検討委員会設置要綱

平成23年3月30日

22港環環第2194号

(設置)

第1条 港区におけるみどりの保全、再生及び創出並びにその普及及び啓発に関する施策を総合的かつ効率的に進めるため、港区みどりの検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 港区におけるみどりの保全、再生及び創出並びにその普及及び啓発に関する施策の連絡及び調整に関すること。
- (2) 港区緑と水の総合計画の推進に関すること。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、環境リサイクル支援部長をもって充て、検討委員会の会務を総括する。
- 3 副委員長は、街づくり支援部長をもって充て、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 4 委員は、別表に掲げる者をもって充てる。

(会議)

第4条 検討委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して検討委員会への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

第5条 検討委員会の円滑な運営を図るため、検討委員会に部会を置くことができる。

- 2 部会は、部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。
- 3 部会長は、環境リサイクル支援部環境課長をもって充て、副部会長及び部会員は、職員のうちから委員長が指名する。
- 4 部会は、部会長が招集する。

(庶務)

第6条 検討委員会及び部会の庶務は、環境リサイクル支援部環境課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会及び部会の運営について必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

港区緑化対策委員会設置要綱（昭和51年5月26日51港環境第25号）は、廃止する。

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

芝地区総合支所まちづくり担当課長

麻布地区総合支所まちづくり担当課長

赤坂地区総合支所まちづくり担当課長

高輪地区総合支所まちづくり担当課長

芝浦港南地区総合支所まちづくり担当課長

街づくり支援部都市計画課長

街づくり支援部開発指導課長

街づくり支援部建築課長

街づくり支援部土木課長

街づくり支援部土木計画・交通担当課長

街づくり支援部土木施設管理課長

環境リサイクル支援部環境課長

企画経営部企画課長

企画経営部施設課長

防災危機管理室防災課長

教育委員会事務局庶務課長

教育委員会事務局学校施設担当課長

5 いきもの作戦会議結果概要

(1) 「みんないきもの大作戦！プレ作戦会議」

■開催概要

〔日時〕 平成 24 年 10 月 20 日（土） 13:30～16:30

〔場所〕 港区立エコプラザ

〔参加人数〕 17 名（在住 4 名、在勤 3 名、区外 10 名）

〔当日の流れ〕

13:30 開会

13:40 自己紹介・生物多様性クイズ

14:10 第 1 部 生物多様性を語ろう

15:10 第 2 部 「作戦会議」の今後を語ろう

16:00 印象に残った言葉・感想

16:30 閉会

(2) 「みんないきもの大作戦！第1回いきもの作戦会議キックオフイベント」

■開催概要

〔日時〕 平成24年11月10日(土) 13:30～16:30

〔場所〕 港区立エコプラザ

〔参加人数〕 29名(在住12名、在勤8名、区外9名)

〔話題提供者〕

中村 俊彦 氏 (港区生物多様性推進委員会副委員長・千葉県立中央博物館)

矢野 亮 氏 (国立科学博物館附属自然教育園名誉研究員)

河野 博 氏 (東京海洋大学教授)

山田 順之 氏 (鹿島建設株式会社)

〔専門家〕

本田 裕子 氏 (高崎経済大学助手)

川廷 昌弘 氏 (株式会社博報堂)

草刈 秀紀 氏 (公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)

武田 雅志 氏 (株式会社環境指標生物)

〔当日の流れ〕

13:30 開会・副区長の挨拶

13:40 第1部 ミニ講演

矢野 亮 氏: 「港区の自然と生きもの」

河野 博 氏: 「江戸前の海とお付き合いする方法」

山田 順之 氏: 「ミツバチとヤギの視点で考える都市の生物多様性」

中村 俊彦 氏: 「生物多様性とわたしたちの暮らし」

15:20 第2部 「いきもの作戦会議」開始

16:10 各グループの発表・共有

16:20 閉会挨拶とお知らせ

16:30 閉会

(3) 「みんないきもの大作戦！第2回いきもの作戦会議」

■開催概要

〔日時〕平成25年2月3日（日） 13:30～16:30

〔場所〕港区立エコプラザ

〔参加人数〕22名（在住7名、在勤4名、区外11名）

〔当日の流れ〕

13:30 開会・環境課長の挨拶とオリエンテーション

13:45 第1部 テーマ別話題提供

テーマ「食」：(社)大日本水産会 マリン・エコラベル・ジャパン事務局
木上正士氏

テーマ「子ども・子育て」：NPO法人NAFA 子育て環境支援センター
専務理事 高橋京子氏

テーマ「働きかた」：NPO法人ファザーリング・ジャパン
事務局長 徳倉康之氏

14:45 第2部 テーマ別「いきもの作戦会議」

16:00 各グループの発表・共有

16:25 閉会挨拶とお知らせ

16:30 閉会



話題提供の様子



いきもの作戦会議の様子

(4) 「みんないきもの大作戦！第3回いきもの作戦会議」

■開催概要

〔日時〕平成25年6月8日（土） 13:30～16:30

〔場所〕港区立エコプラザ

〔参加人数〕21名（在住7名、在勤6名、在学1名、区外7名）

〔当日の流れ〕

13:30 開会・環境課長の挨拶とオリエンテーション

13:45 第1部 テーマ別話題提供

 テーマ「食」：港区在住の漁師 鈴木 晴美 氏

 テーマ「子ども・子育て」：TOKYO PLAY 代表 嶋村 仁志 氏

 テーマ「働きかた」：NPO 法人グリーンワークス代表 牧野 ふみよ 氏

14:45 第2部 テーマ別いきもの作戦会議

16:00 各グループの発表・共有

16:25 閉会挨拶とお知らせ

16:30 閉会

(5) 「みんないきもの大作戦！第4回いきもの作戦会議」

■開催概要

〔日時〕平成25年8月24日（土） 13:30～16:30

〔場所〕港区立エコプラザ

〔参加人数〕37名（在住8名、在勤9名、在学2名、区外15名、不明3名）

〔当日の流れ〕

13:30 開会とオリエンテーション

13:45 第1部 話題提供

 「生物多様性について活動するきっかけづくりについて」

 公益財団法人世界自然保護基金ジャパン事務局長付 草刈 秀紀 氏

14:45 第2部 いきもの作戦会議

15:55 ポスターセッション

16:20 まとめ・共有

16:25 閉会挨拶とお知らせ

16:30 終了

(6) PR イベント「みんないきもの大作戦！港区の生物多様性フォーラム」

■開催概要

〔日時〕平成25年11月9日（土） 13:30～16:00

〔場所〕港区立エコプラザ

〔参加人数〕44名（在住18名、在勤5名、在学1名、区外6名、不明14名）

〔当日の流れ〕

13:30 開会とオリエンテーション

13:50 基調講演

「大都市・港区と生物多様性」 慶應義塾大学 教授 一ノ瀬 友博 氏

14:25 休憩

14:40 事例紹介

港区立青南小学校 第3学年のみなさん

森ビル株式会社 峰崎 善次 氏

区民 平川 幸子 氏

15:30 全体の質疑応答

15:50 まとめ

15:55 閉会挨拶とお知らせ

16:00 終了

〔展示〕

- ・山脇学園（中・高等部）サイエンスアイランドクラブ生物班のとりくみ
- ・港区立青南小学校 第3学年のみなさんが描いた理想の学校ビオトープ
- ・港区周辺の地形模型（森ビル株式会社より）



基調講演の様子



事例紹介の様子（港区立青南小学校）



展示（山脇学園）

(7) 自主活動「生物多様性勉強会」

■開催概要

11月10日に行われたキックオフイベントから派生した自主活動として、中村俊彦氏が勉強会を開いてくださいました。テーマは「子どもの成長と自然欠損障害」についてです。中村氏の講演の後、2つのグループに別れて、問題意識の共有や将来への想いなどについて、全員で意見交換を行いました。

〔日時〕平成24年12月7日（金） 18:30～20:30

〔場所〕港区役所9階 914・915会議室

〔参加人数〕18名（在住3名、在勤6名、区外8名、不明1名）

〔当日の流れ〕

18:30 開会挨拶と趣旨説明

18:35 第1部 中村俊彦氏：「子どもの成長と自然欠損障害」について

19:40 第2部 意見交換会

20:10 各グループの発表・質疑応答

20:25 閉会挨拶とお知らせ

20:30 閉会

(8) 自主活動「あつまれ事業者！港区の生物多様性フォーラム」

■開催概要

11月10日に行われたキックオフイベントから派生した自主活動として、港区の企業が中心となって「港区生物多様性事業者フォーラム実行委員会」を組織し、今回のイベントを開催しました。港区の事業者が、生物多様性に関して情報を交換しながら「何ができるか」を話し合い、「港区の事業者による生物多様性宣言」を行いました。

〔日時〕平成25年1月25日（金） 13:00～17:30

〔場所〕港区立エコプラザ

〔参加人数〕79名（在住5名、在勤33名、区外41名）

〔当日の流れ〕

- 13：00 開会・来賓ご挨拶
- 13：10 基調講演 東京スリバチ学会 副会長 石川 初氏「港区の地形と自然」
- 13：35 スペシャルインタビュー（Skype 中継）
赤坂氷川神社宮司 恵川 義昭氏「自然崇拜と神社」
- 14：00 事例発表（Skype 中継）
青山商店会連合会（青山一・二丁目商栄会） 市川 博一氏
「土地の記憶プロジェクト」
日本電気株式会社 CSR・環境推進本部 佐久間 玲子氏
「気候変動への対応と環境保全活動『NEC ネイチャークエスト in 芝公園』」
株式会社東芝 社会インフラシステム社 環境担当 唐澤 由紀子氏
「東芝府中事業所における生物多様性保全への取り組み」
株式会社日比谷アメニス ソリューション営業部 水野 妙子氏
「お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で」
～お台場からの Skype 中継～ 解説 東京海洋大学 河野 博氏
株式会社大林組 技術本部技術研究所 環境技術研究部課長 杉本 英夫氏
「小鳥のオアシス都市に浮かぶ -oak omotesando- 屋上緑化で JHEP 認証」
カワセ印刷株式会社 代表取締役社長 川瀬 健二氏
「小さな印刷会社にできる生物多様性活動」
森ビル株式会社 環境推進室室長 峰崎 善次氏
「港区の地形特性と森ビルの街づくり」
- 15：55 グループディスカッション
- 17：00 各グループの発表
- 17：10 港区の事業者による生物多様性宣言、フォトセッション
- 17：25 閉会の挨拶 みなと環境にやさしい事業者会議（mecc） 嵯峨 生馬氏
- 17：30 閉会



事例発表の様子



フォトセッションの様子



集合写真

6 区民意見の募集結果

「港区生物多様性地域戦略（素案）」についての区民意見募集と説明会を行いました。

（1）区民意見募集

〔募集期間〕平成26年2月11日（火）～平成26年3月10日（月）

〔募集方法〕

- ・港区ホームページ「施策・計画に対するご意見」、環境課、区政資料室、総合案内、各総合支所、各区立図書館（高輪図書館分室を除く）、麻布図書サービスセンターに設置。
- ・港区ホームページの入力フォーム、または直接・郵送・ファックスでの提出

〔意見募集の結果〕

意見数 ●件（提出者数：●名 提出方法：入力フォーム●名）

（2）説明会

〔日時〕平成26年2月23日（日） 10:30～12:00

〔場所〕港区役所9階会議室

〔参加人数〕5名

7 表層地質

港区の表層地質は、沖積層が低地部に、ローム層が台地部に、東京層が主に斜面地に堆積しています。

東京層は細砂、粘土の互層で、貝の化石を多く含み、その上層にローム層が堆積しています。ローム層は関東平野に最も普通の火山灰由来の層で5～8mの厚さがあります。沖積層は河川の流域や海岸沿いの低地に分布します。

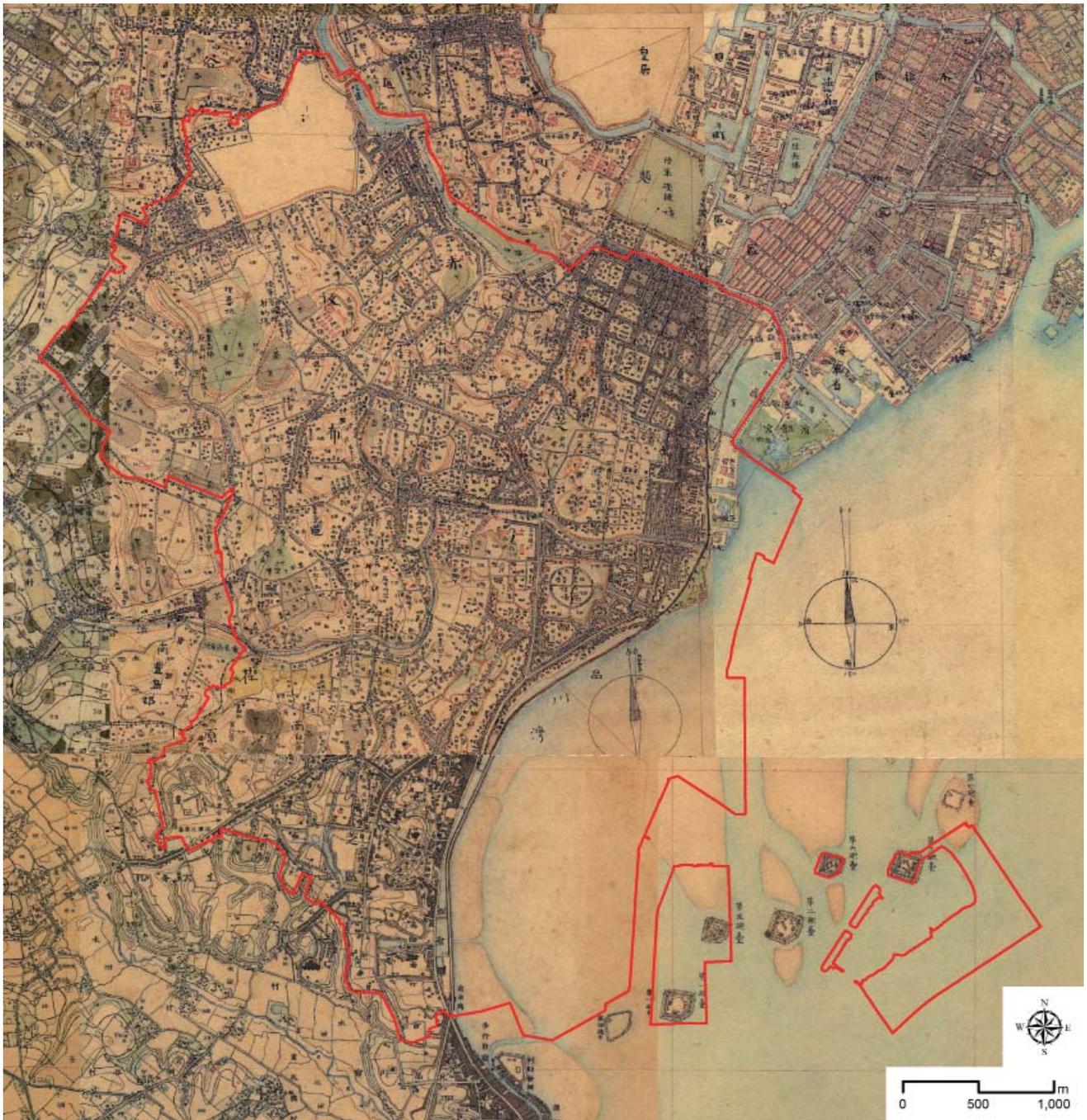
港区の土壌は、人工改変地がほとんどを占めますが、自然教育園や赤坂御用地では黒ボク土壌が比較的広い範囲で残されています。黒ボク土壌は火山灰土壌で、台地や丘陵に広く分布している土壌ですが、都心である港区では希少な森林土壌といえます。



図 7-1 港区の表層地質

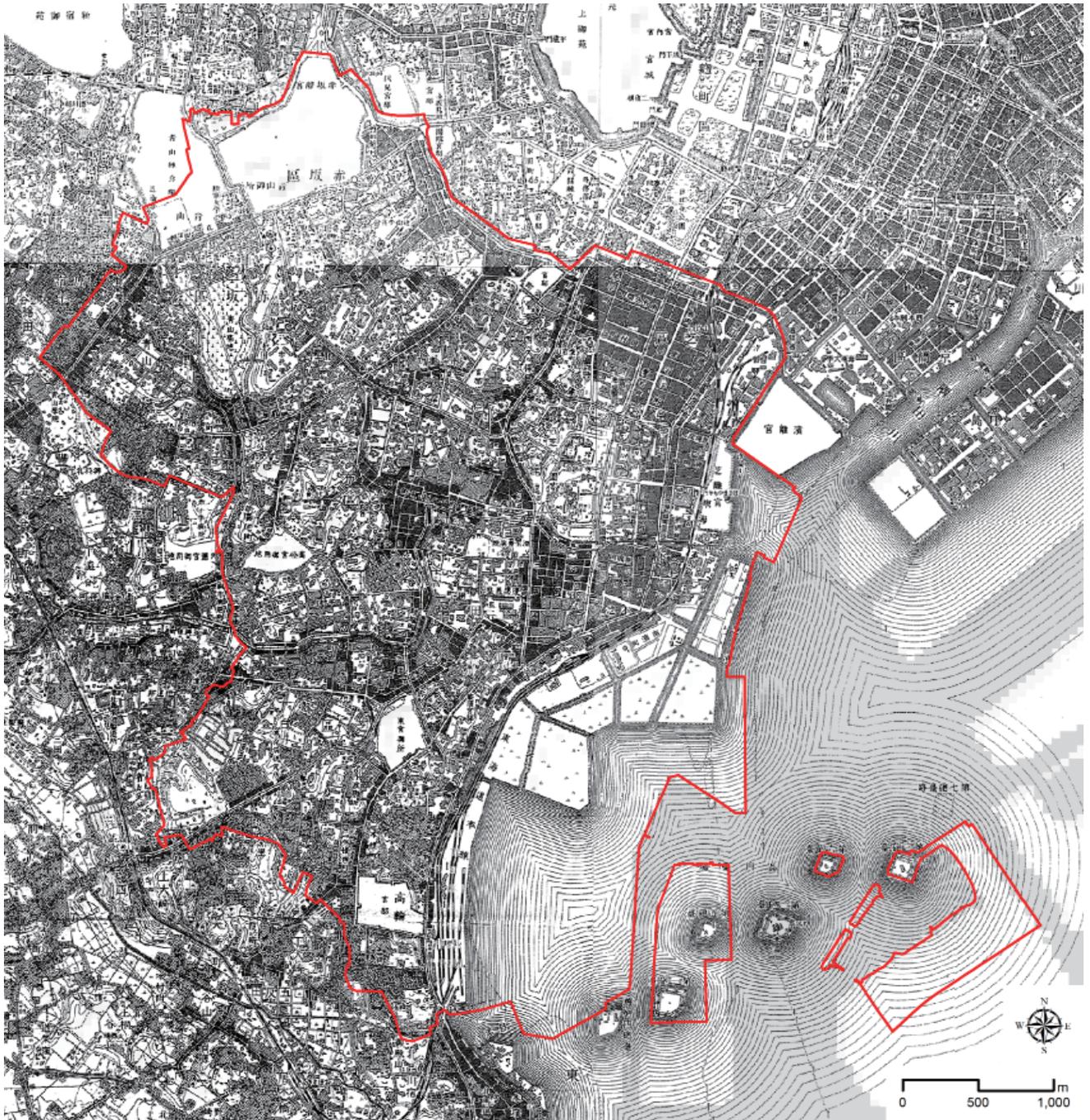
国土調査による1/50,000土地分類基本調査（表層地質図）
「東京東北部、東京西北部、東京東南部、東京西南部」東京都（1996～1998）をもとに作成

8 土地利用の変遷



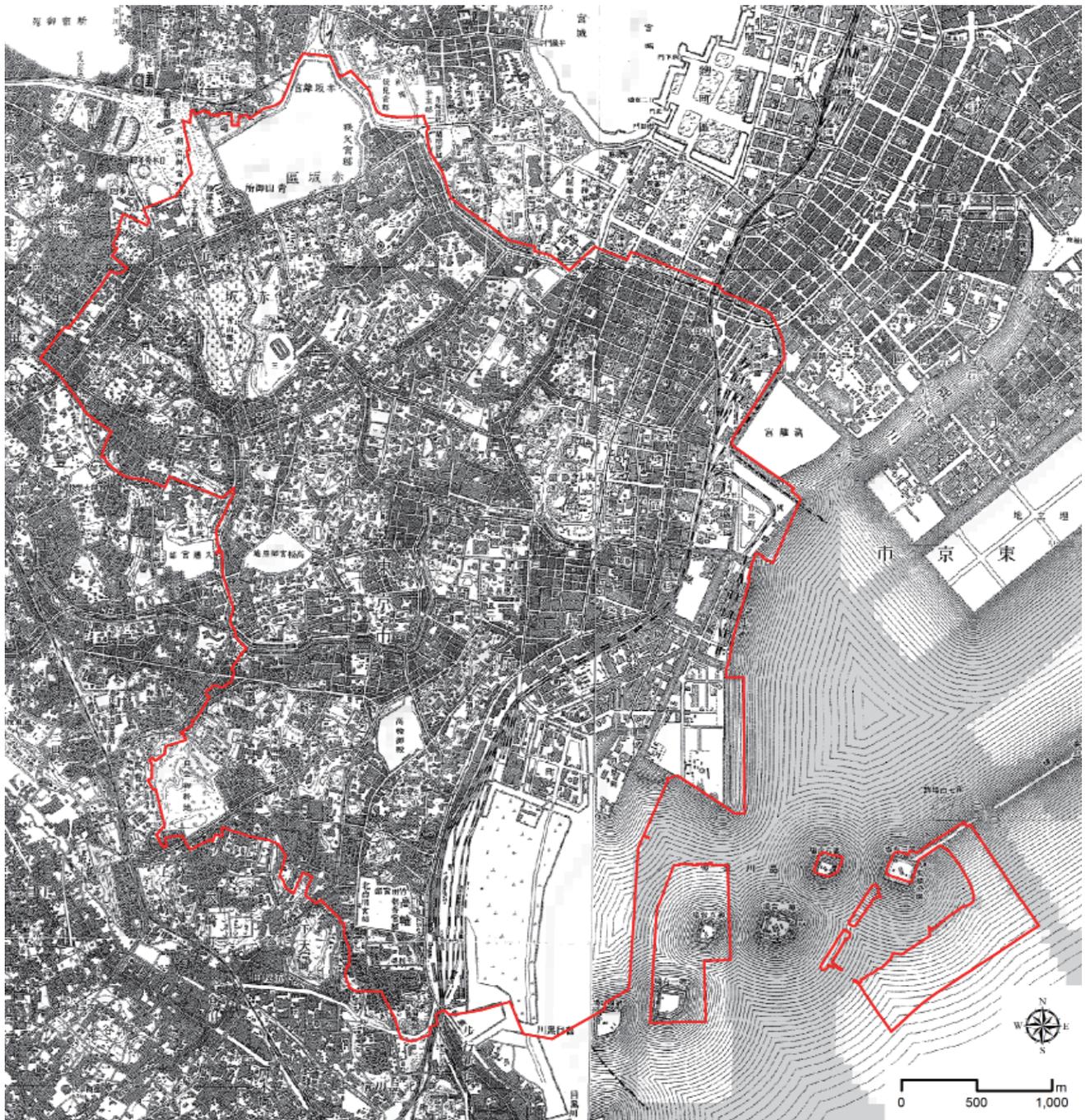
明治13 (1880) 年頃
鉄道が開通し、芝浦沖には台場がある。

図 8-1 地形図による土地利用の変遷 (1/4)
赤枠は、現在の港区のおおよその位置を示す (以下同様)



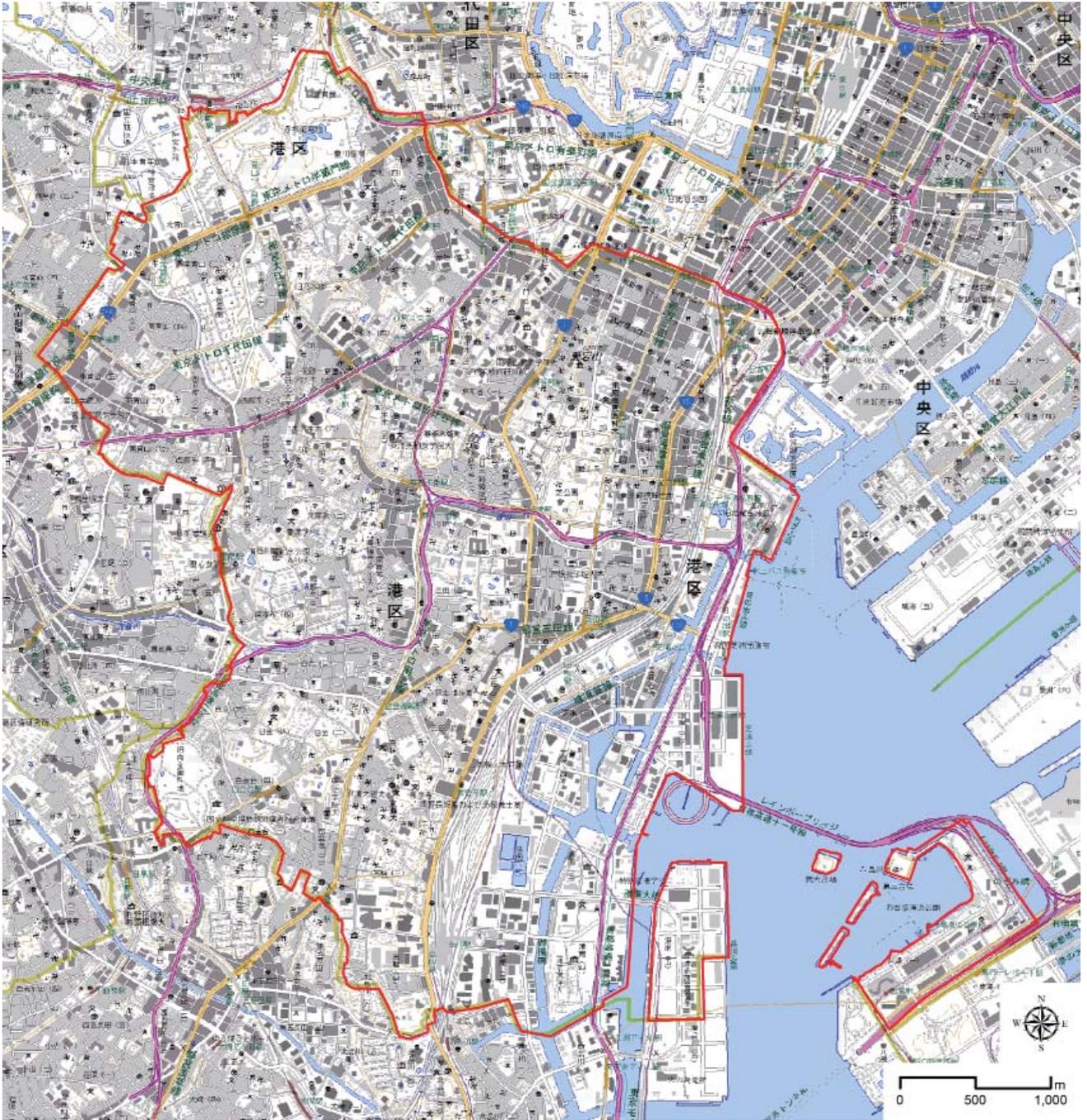
大正6 (1917) 年
埋め立てが進み、沿岸漁業は徐々に衰退。

図 8-1 地形図による土地利用の変遷 (2/4)



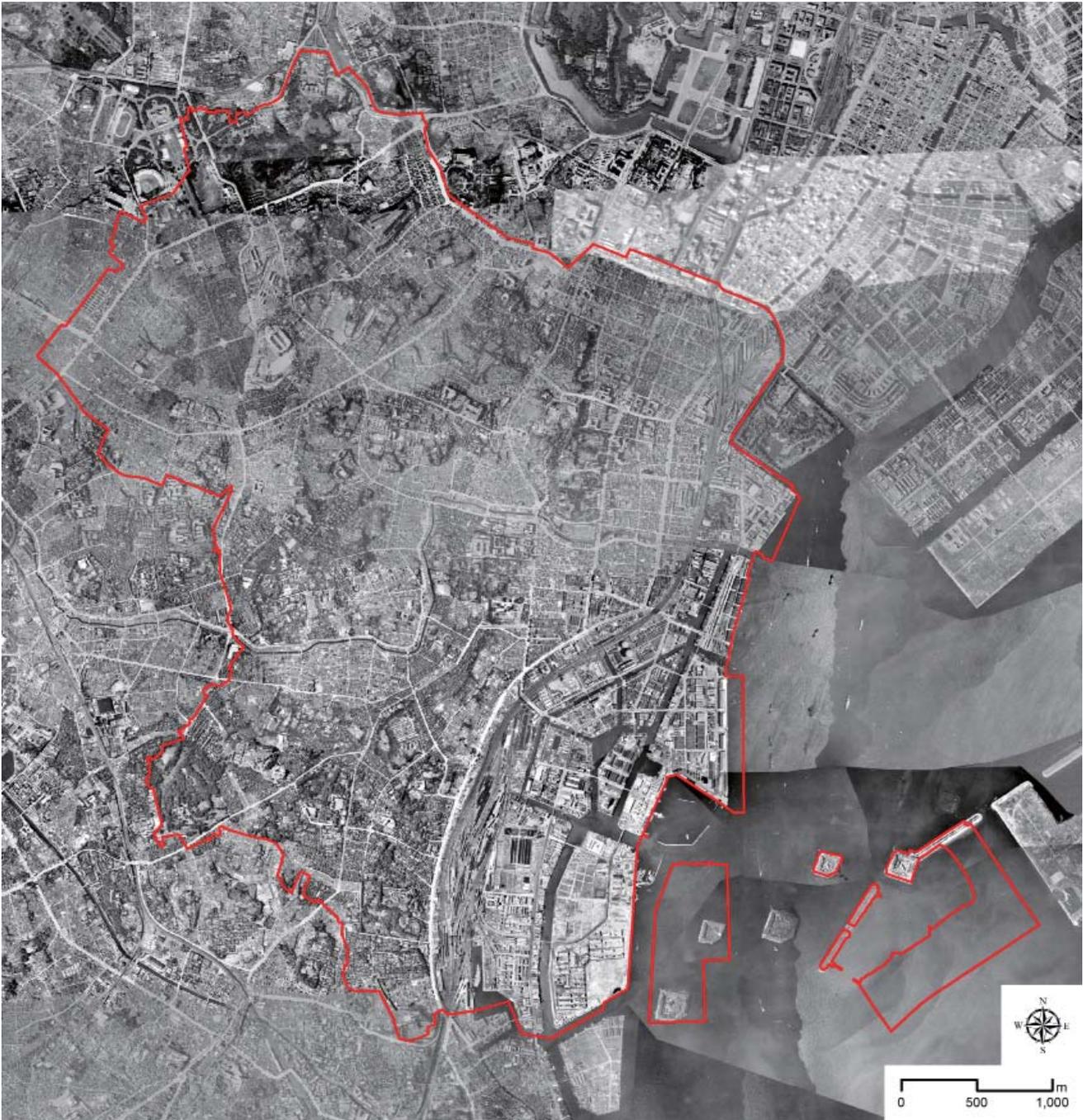
昭和5（1930）年
 関東大震災から復興し、さらに埋め立てが進む。

図8-1 地形図による土地利用の変遷（3/4）



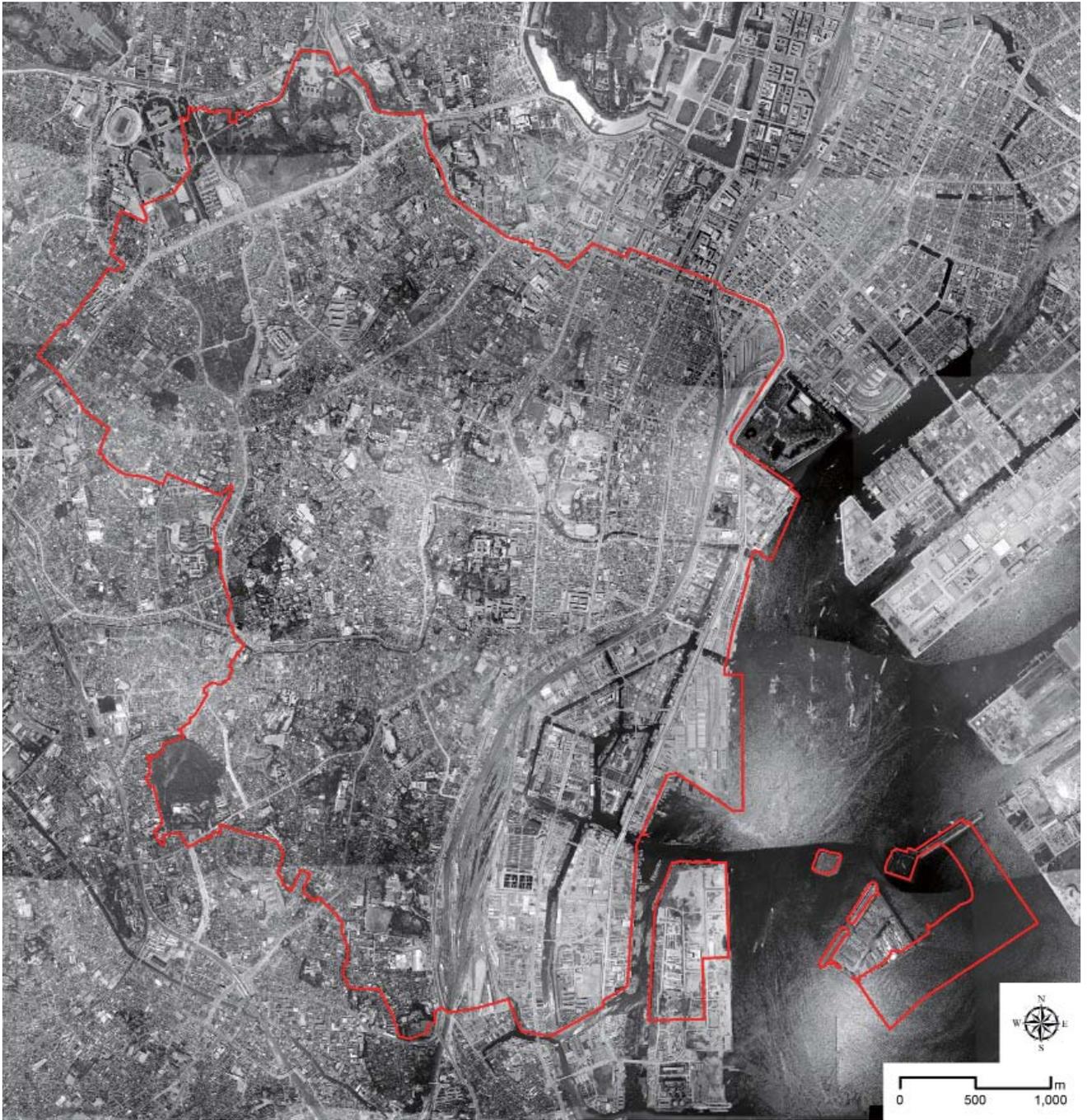
平成25（2013）年
台場地区が整備され高層住宅が立ち並ぶ。

図 8-1 地形図による土地利用の変遷（4/4）



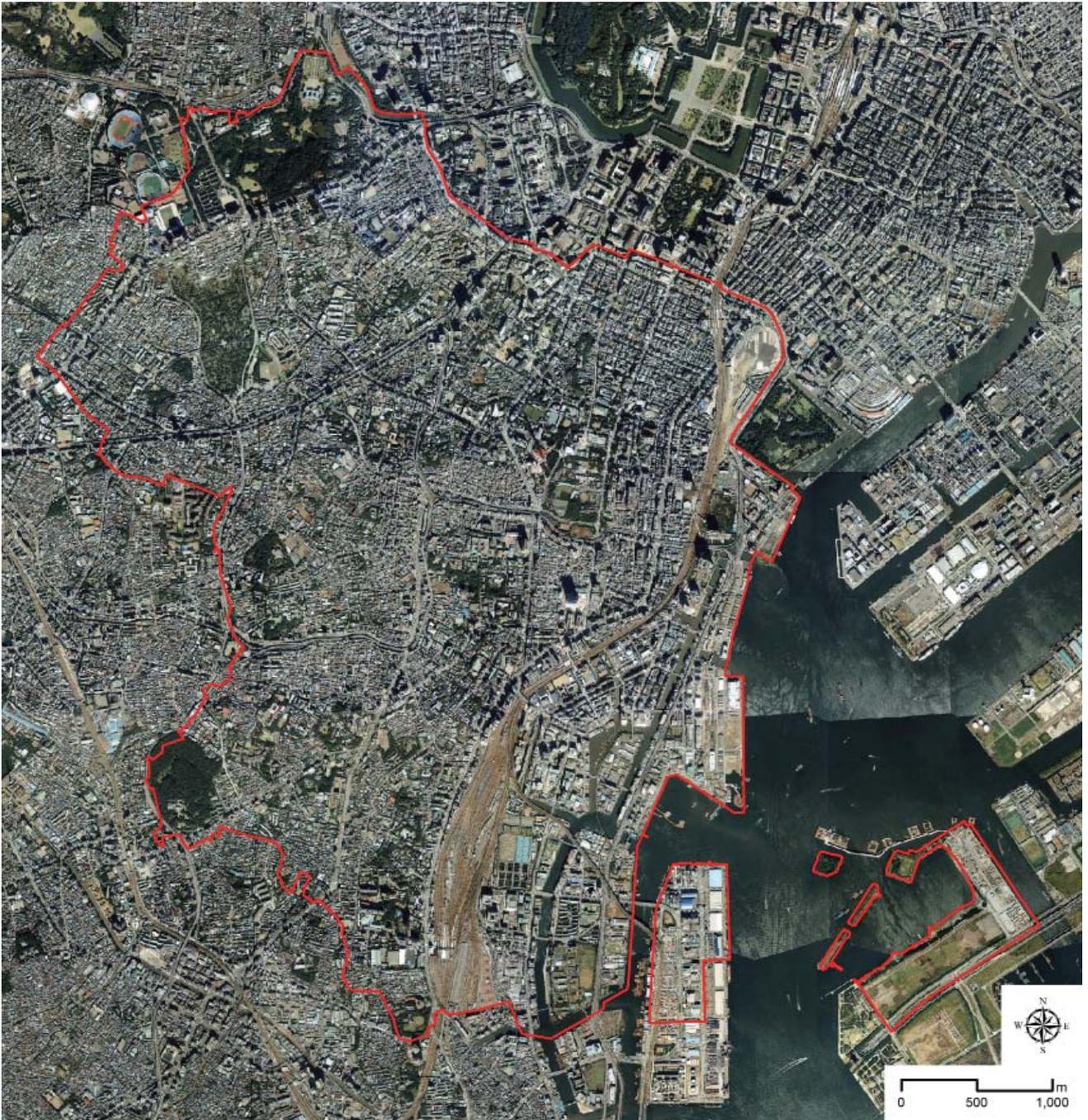
昭和22（1947）年
ふ頭は今よりも少ない。第一台場や第五台場などがある。

図 8-2 航空写真による土地利用の変遷（1/4）
赤枠は、現在の港区のおおよその位置を示す（以下同様）



昭和38（1963）年
首都高速道路はまだなく、古川がみえる。

図 8-2 航空写真による土地利用の変遷（2/4）



平成元（1989）年
レインボーブリッジや台場地区の建物が造られ始めた頃。

図 8-2 航空写真による土地利用の変遷（3/4）



平成21（2009）年
六本木や新橋、港南、赤坂などに超高層ビル群がみえる。

図8-2 航空写真による土地利用の変遷（4/4）

9 現況の土地条件

更新世段丘は切土され、低地では盛土・埋め立てが繰り返されてきました。

土地利用はめまぐるしく変化しましたが、山地斜面等や凹地・浅い谷が散在しており、かつての面影をわずかに残しています。

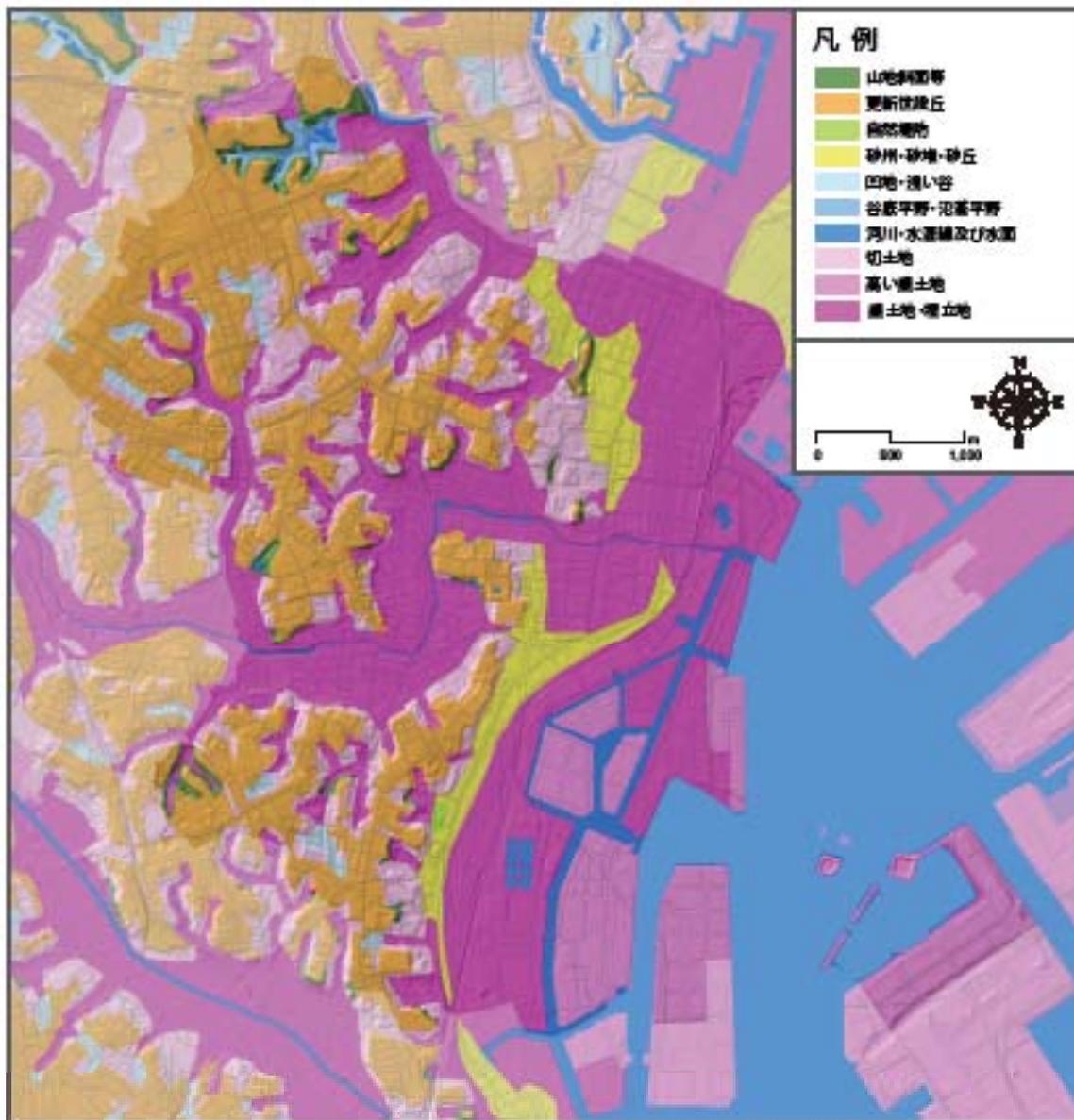


図9-1 現況の土地条件

「土地条件図」国土地理院 (http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/lc_index.html) をもとに作成

10 港区とその周辺の緑地分布

港区の周縁部には、中央区の浜離宮恩賜庭園、千代田区の皇居、新宿区の新宿御苑、渋谷区の明治神宮や代々木公園、台東区の上野恩賜公園（不忍池）など、大規模な緑地が隣接しています。

また、これらの大規模な緑地のほかに、港区の重心から半径10km以内には、小石川植物園や林試の森公園など比較的まとまった緑地（主に樹林地）が点在しています。一方、まとまった草地や農地は少なく、10km以上離れた練馬区や世田谷区で散見される程度です。

主な河川は、港区の重心から10km以上離れて荒川と多摩川が流れているほか、港区のすぐ東側には隅田川があります。

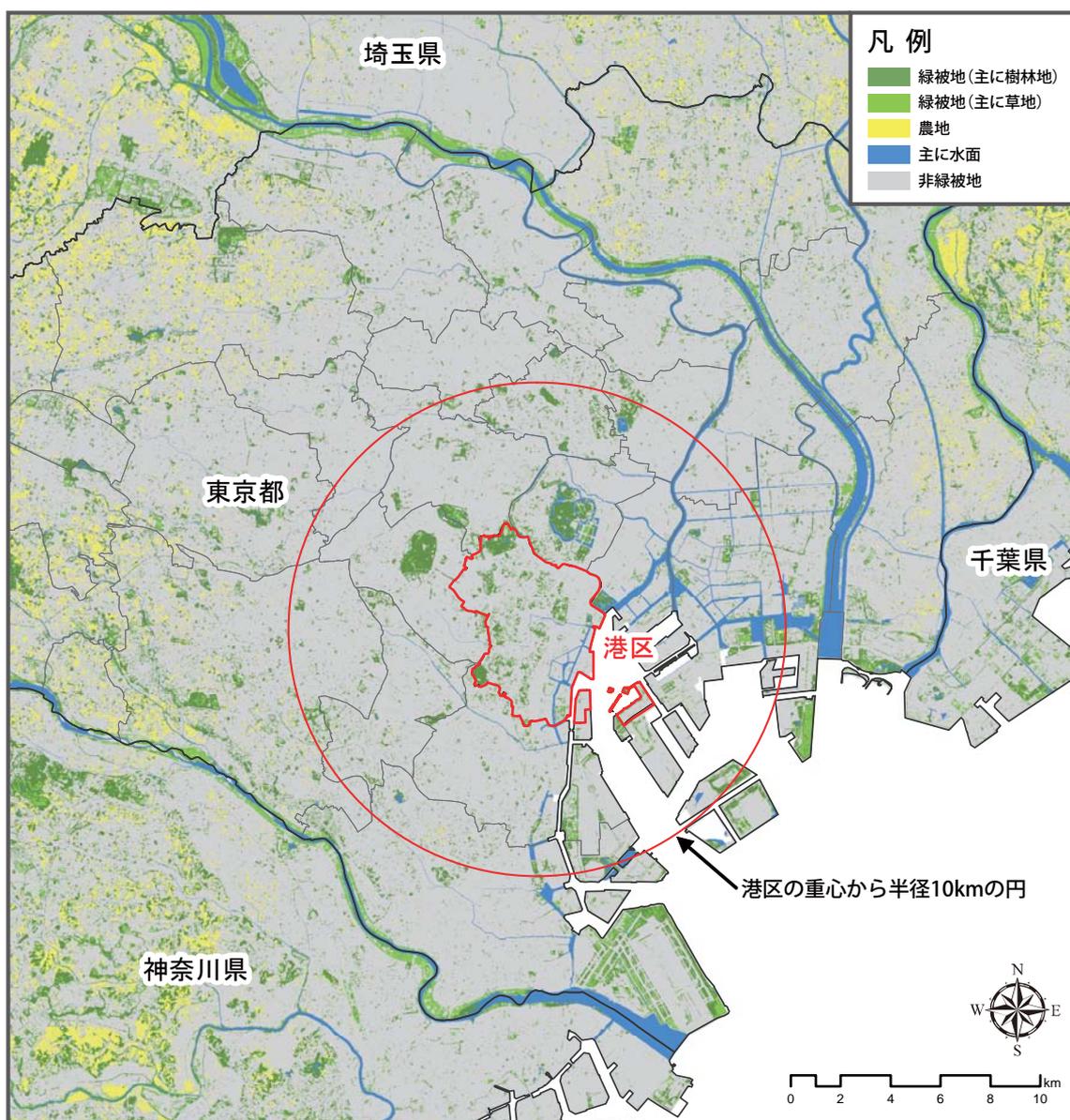


図10-1 港区とその周辺の緑地分布

「緑被分布図」（国土交通省都市・地域整備局 2007）をもとに作成

11 現存植生

港区の植生区分の大部分は市街地等です。シラカシ群集などの自然植生は、自然教育園や赤坂御用地、愛宕山といった限られた場所に残されています。また、緑の多い住宅地や公園、墓地となっている場所にも、比較的まとまった樹林がみられるところがあります。



図 11-1 港区の現存植生

「自然環境保全基礎調査 植生調査」(環境省 自然環境局 生物多様性センター)の植生図データ (<http://www.vegetation.jp/>)をもとに作成

12 保護樹木・樹林

保護樹木は630本、保護樹林は26箇所が指定されています（平成25年10月時点）。保護樹木は高輪地区（261本）、保護樹林は芝地区（9箇所）に多く分布しています。

その一方で、埋立地である芝浦港南地区には、保護樹木・樹林ともにありません。

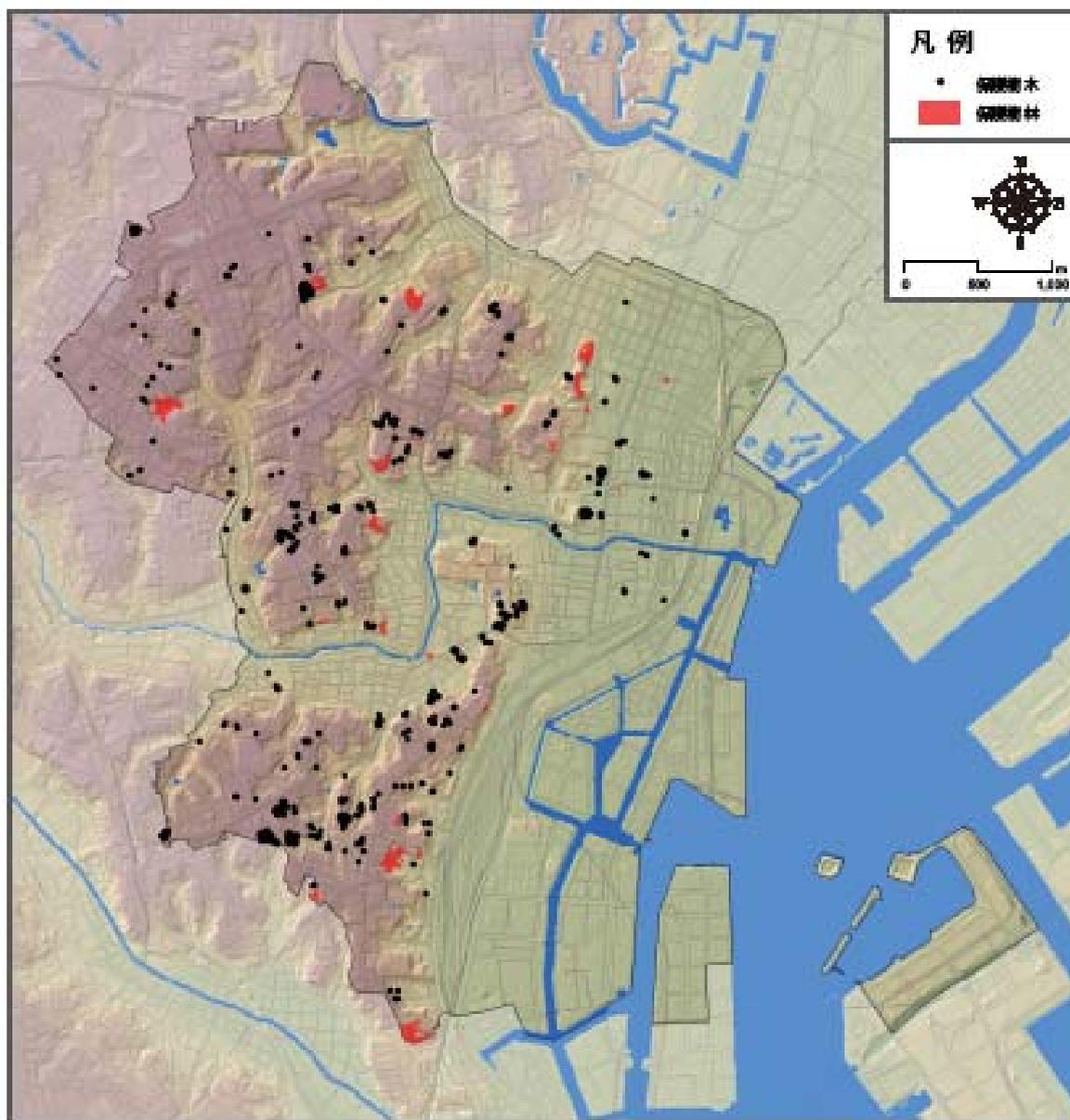


図 12-1 港区の保護樹木及び保護樹林の分布

13 自然教育園の生きもの

自然教育園は、港区の生物多様性にとって重要な拠点です。面積が約 20ha と広大な緑地で、長年にわたり自然に近い状態で樹林環境が保たれてきました。自然教育園の生きものについては、昭和 44（1969）年から平成 20（2008）年まで詳しく調査されており、これまでに 4,034 種が確認されています。

表 13-1 自然教育園で記録されている生きものの種数（文献調査）

分類群	種数	絶滅危惧種	外来種
植物（維管束植物）	1,090	64	116
コケ（蘚苔類・地衣類）	74	1	—
きのこ（担子菌類）	120	—	—
鳥類	139	50	13
ほ乳類	2	1	—
は虫類	11	10	1
両生類	3	2	1
昆虫類・クモ類	2,327	38	37
土壌動物	246	3	—
魚類	11	3	4
底生動物	11	5	1
合計	4,034	177	173

自然教育園周辺は、太古から樹林であったと考えられています。江戸時代、増上寺が管理していた後、松平讃岐守の下屋敷となりました。明治時代には海軍の火薬庫になったこともあります。大正時代、宮内省の管轄となり、白金御料地と呼ばれるようになりました。昭和 24（1949）年、国立自然教育園として一般に公開され、昭和 37（1962）年から国立科学博物館附属自然教育園になりました。

園内には広大な樹林、池のほか、3ヶ所の湧水があります。区内ではここでしかみられない生きものが多く確認されています。植物では、水辺に生えるシロバナサクラタデやツリフネソウ、樹林性のニリンソウやマヤランなどがあります。動物では、都会では希少なシロマダラやジムグリが生息しています。

その一方で、都市林としての特徴もあります。植物では、アオキやシュロといった、鳥によって種子散布されるタイプの樹木が増えています。また、ハシブトガラスの数が多く、生態系のバランスが歪んだ状況にあるといわれています。

14 絶滅危惧種の分布状況

「港区生物現況調査（第2次）」（平成20～21年に現地調査を実施）で、港区で確認された絶滅危惧種の種数を、図14-1に示しました。赤坂御用地と自然教育園で圧倒的に確認種数が多いことがわかります。これらの緑地では詳しい調査がなされているので、ほかの緑地と比べて情報量が多いことも影響していますが、面積が広いこと、人の立ち入りが制限されていることが、その大きな要因です。

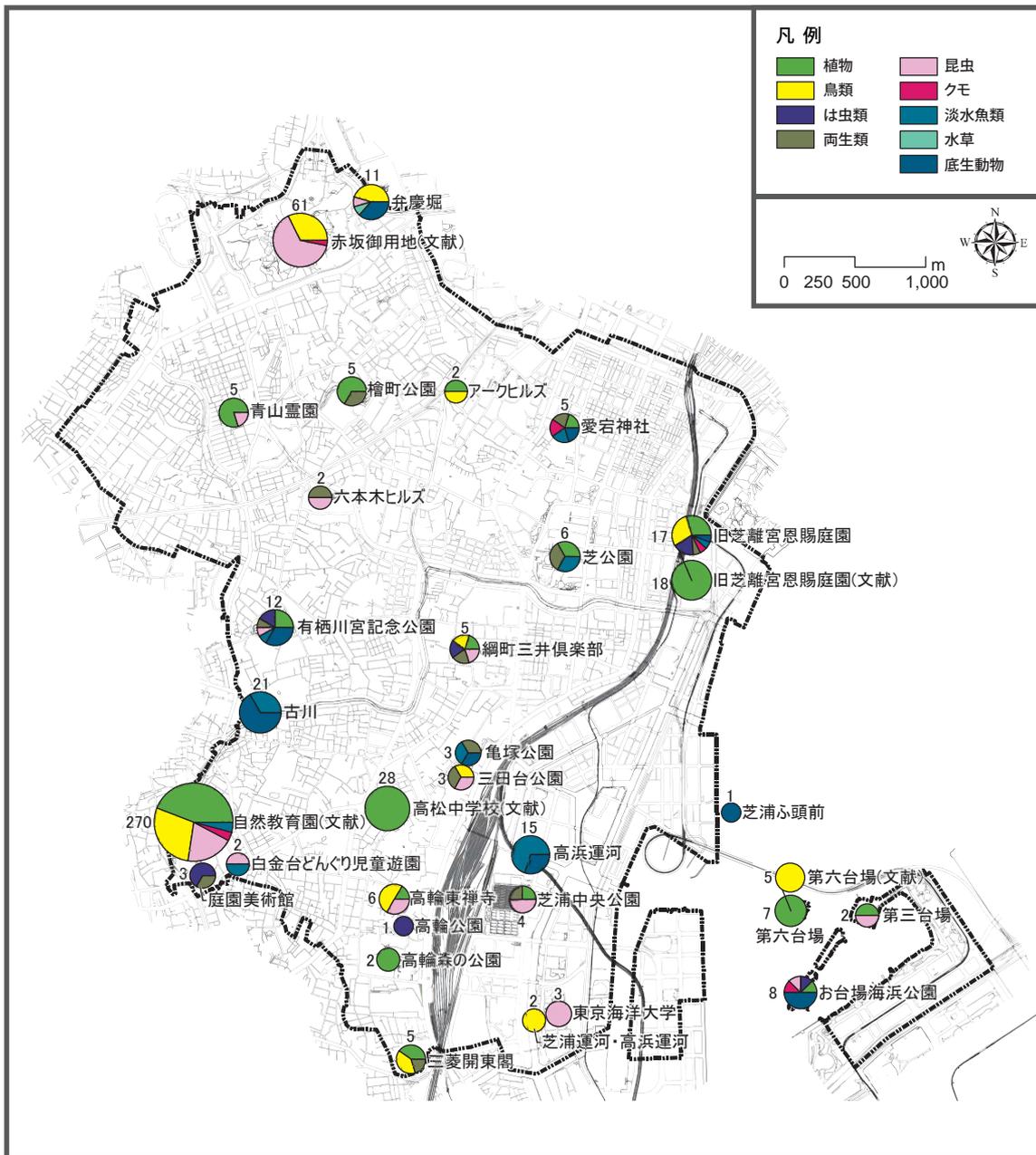


図14-1 絶滅危惧種の確認地点と種数

「港区生物現況調査（第2次）」のデータをもとに作図。ただし、自然教育園及び赤坂御用地、高松中学校、旧芝離宮恩賜庭園（一部）、第六台場（一部）は、そのほかの文献に基づく。

※円の大きさは確認種数の多さを、数字は環境省及び東京都のレッドリストに掲載されている種数の合計値を示す。

15 外来種

港区では、212種の外来種が確認されています（「港区生物現況調査（第2次）」（平成20～21年に現地調査を実施））。特に植物では確認種全体の約3割を外来種が占めており、場所によっては生態系の主要な構成要素になっています。

また、池には、アカミミガメ、アメリカザリガニ、タイリクバラタナゴといったペット由来の外来種が生息しています。東京湾ではバラスト水^{*}の影響で、ホンビノスガイ等の外来の底生動物が増えています。

表 15-1 現地調査で確認された外来種

分類群	特定外来生物 ^{※1}	要注意外来生物 ^{※2}	そのほかの外来種 ^{※3}	合計
植物（維管束植物）	オオカワヂシャ、アレチウリ（2種）	セイタカアワダチソウ、オオカナダモなど（35種）	オオイヌノフグリ、ウラジロチチコグサなど（110種）（帰化率は28%）	147
コケ（蘚苔類）	—	—	ミカツキゼニゴケ（1種）	1
鳥類	—	—	アヒル、ドバト、ホンセイインコ（3種）	3
ほ乳類	—	—	ハクビシン（※起源については諸説あり）（1種）	1
は虫類	—	アカミミガメ（1種）	—	1
両生類	ウシガエル（1種）	—	—	1
昆虫類	—	—	アワダチソウグンバイ、アオマツムシなど（16種）	16
土壌動物	—	—	ヒメコハクガイ、チャコウラナメクジなど（5種）	5
魚類（池と川）	ブルーギル、オオクチバスなど（3種）	オオタナゴ、タイリクバラタナゴ、ニジマス、カムルチー（4種）	ゲンゴロウブナ（国内外来種）、タウナギ（2種）	9
魚類（東京湾と運河）	カダヤシ ^{※4} （1種）	—	—	1
底生動物（池と川）	—	タイワンシジミ、アメリカザリガニなど（6種）	アメリカツノウズムシ、サカマキガイなど（7種）	13
底生動物（東京湾と運河）	—	ムラサキイガイ、タテジマフジツボなど（7種）	ホンビノスガイ、イッカククモガニなど（7種）	14
合計	7	53	152	212

※1 特定外来生物：生態系、人の生命・身体、農林水産業に特に影響を与える外来種。

※2 要注意外来生物：取り扱いに注意が必要な種。

※3 そのほかの外来種：特定外来生物、要注意外来生物以外の外来種。

※4 カダヤシ：淡水魚だが、運河でも確認。

※ バラスト水：P.37 参照。

16 植物の帰化率

調査地点ごとの植物の帰化率（生育している野生の植物の種数に対する外来種の割合）を図16-1に示しました。芝浦港南地区で高い傾向があります。

港区全域の帰化率は、28.1%（「港区生物現況調査（第2次）」（平成20～21年に現地調査を実施））でした。杉並区の18.8%（平成20年）、目黒区の25.7%（昭和59年）と比べると、高い数値です。外来の植物が多いことは、都市の特徴といえます。

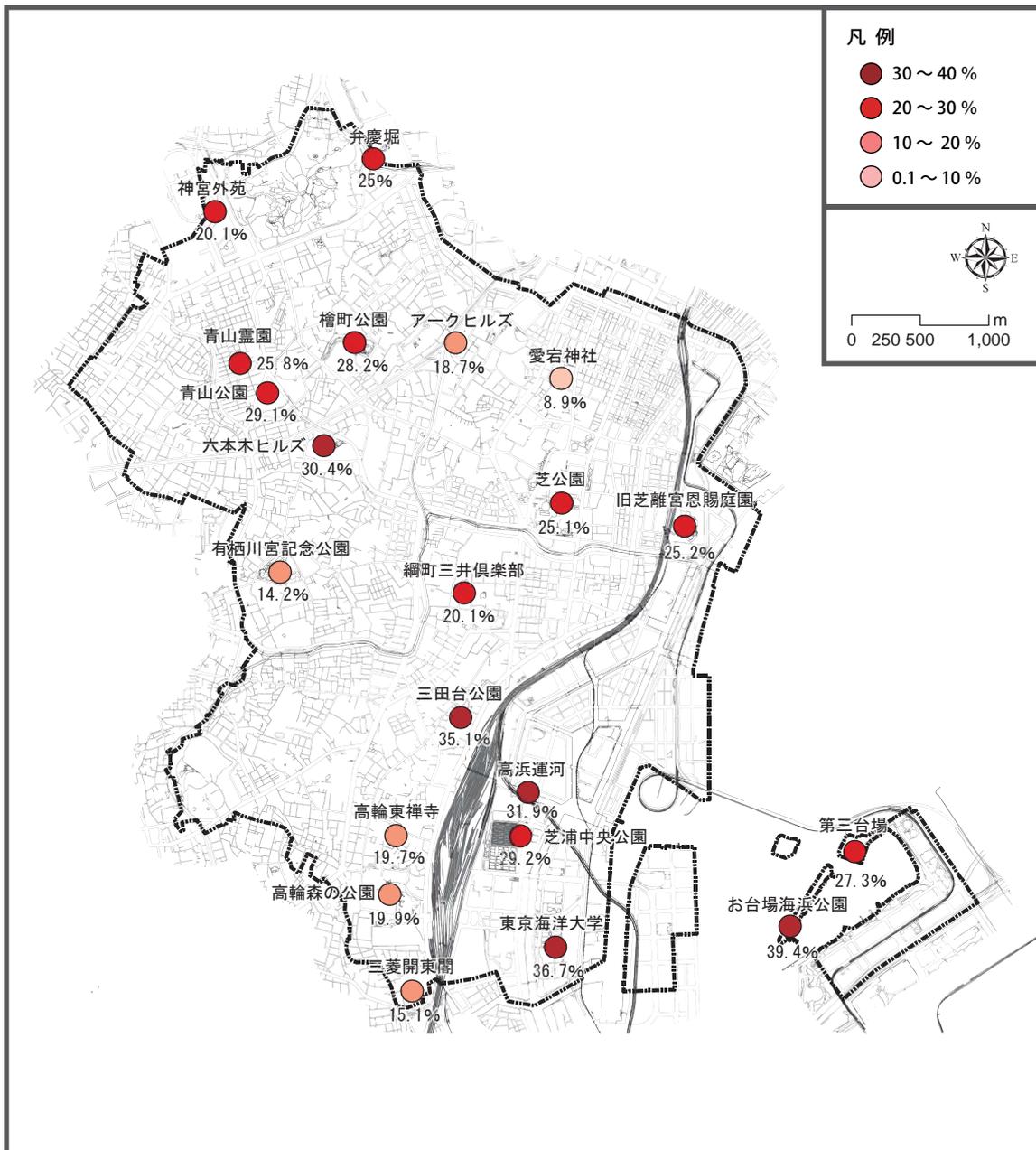


図 16-1 調査地点ごとの帰化率

17 参考になるウェブサイト

■ 生物多様性全般に関わる情報

環境省：生物多様性 -Biodiversity-	http://www.biodic.go.jp/biodiversity/
環境省：海洋生物多様性保全戦略サイト	http://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/index.html
農林水産省生物多様性戦略	http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_senryaku/index.html
SATOYAMA イニシアティブ	http://satoyama-initiative.org/ja/
生物多様性アジア戦略	http://www.bas.ynu.ac.jp/home
国連生物多様性の10年日本委員会	http://undb.jp/
にじゅうまるプロジェクト	http://bd20.jp/

■ まちづくりに関わる情報

都市における生物多様性とデザイン	http://www.jilac.jp/URBIO2010/ja/doku.php
------------------	---

■ 保全上重要な自然に関する情報

IUCN 日本委員会 (レッドリスト情報)	http://www.iucn.jp/species/redlist.html
重要野鳥生息地 (IBA)	http://www.wbsj.org/nature/hogo/others/iba/
フェアワイルド ～人と野生植物にフェアな世界基準～	http://www.trafficj.org/theme/medicinal/fairwild.html

■ 外来種に関する情報

環境省：外来生物に関する情報	http://www.env.go.jp/nature/intro/
侵入生物データベース	https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/

■ 生物多様性と暮らし・仕事に関する情報

エコロジカル・フットプリント	http://www.wwf.or.jp/activities/2012/12/1106511.html
CEPA ジャパン	http://cepajapan.org/
生物多様性民間参画パートナーシップ	http://www.bd-partner.org/
生態系と生物多様性の経済学 (TEEB)	http://www.iges.or.jp/jp/news/topic/1103teeb.html
森林認証協議会	https://jp.fsc.org/index.htm
持続可能な漁業で獲られた認証水産物	http://www.msc.org/?set_language=ja
みなと環境にやさしい事業者会議	http://mecc-minato.net/

索引

	用語	よみ	ページ	
あ	愛知目標	あいちもくひょう	6,8,9,10,11,86,130,132,133	
	IPCC（気候変動に関する政府間パネル）	あいびーしーしー（きこうへんどうにかんするせいふかんぱねる）	38,130	
	IUCN（国際自然保護連合）	あいゆーしーえぬ（こくさいしぜんほごれんごう）	9,130	
	エコロジカルネットワーク	えころじかるねっとわーく	26,28,83,89,100,101,118,126	
	FSC認証	えふえすしーにんしょう	96,130	
	MSC認証	えむえすしーにんしょう	96,130	
か	外来種（外来生物）	がいらいしゅ（がいらいせいぶつ）	6,9,12,22,23,33,34,35,37,58,74,79,84,88,89,111,118,130,資-5,資-37,資-39,資-40,資-41	
	外来生物法	がいらいせいぶつほう	37,133	
	環境基本法	かんきょうきほんほう	8,131	
	環境教育推進法	かんきょうきょういくそくしんほう	8,131	
	公開空地	こうかいくうち	22,30	
	国連持続可能な開発会議（リオ+20）	こくれんじぞくかのうなかいはつかいぎ	8,131	
	国連生物多様性の10年	こくれんせいぶつたようせいのじゅうねん	8,73,131,資-41	
	さ	在来種	ざいらいしゅ	33,37,84,102,111,118,131
		サプライチェーン	さぷらいちえーん	14,63,78
		実質浸透域	じっしつしんとういき	110
生態系		せいたいけい	2,3,4,5,6,8,9,12,37,43,63,84,88,110,111,112,132,133,134,資-37,資-39,資-41	
生態系サービス		せいたいけいさーびす	5,48	
生物季節		せいぶつせつ	112	
生物多様性基本法		せいぶつたようせいきほんほう	8,11,12,132,資-10	
生物多様性国家戦略		せいぶつたようせいこっかせんりゃく	8,10,11,12,97,132	
生物多様性条約		せいぶつたようせいじょうやく	8,131,132,133	
生物多様性条約		せいぶつたようせいじょうやく	8,130,131,132	
第10回締約国会議（COP10）		だいじゅっかいていやくこくかいぎ		
生物多様性総合評価（JBO）		せいぶつたようせいそうごうひょうか	21,132	
生物多様性地域連携促進法		せいぶつたようせいちいきれんけいそくしんほう	8,131	
絶滅危惧種		ぜつめつきぐしゅ	6,9,28,32,34,35,36,70,79,132,資-37,資-38	
た		地球規模生物多様性概況第3版（GBO）	ちきゅうきぼせいぶつたようせいがいきょうだいさんばん	6,7,133
		地球サミット（環境と開発に関する国際連合会議）	ちきゅうさみっと（かんきょうとかいはつにかんするこくさいれんごうかいぎ）	8,131,133
		T.P.	ていー. ぴー.	24
	底生動物	ていせいどうぶつ	35,資-37,資-38,資-39	
	東京都環境基本条例	とうきょうとかんきょうきほんじょうれい	8,133	
	特定外来生物	とくていがいらいせいぶつ	37,133,134,資-39	
	トレーサビリティ	とれーさびりてい	64	

太字は、用語の説明があるページを示しています。

	用語	よみ	ページ
な	にじゅうまるプロジェクト	にじゅうまるぷろじえくと	9,118,133,資-41
は	バラスト水	ばらすとすい	37,資-39
	ヒートアイランド現象	ひーとあいらんどげんしょう	21,22,23,48,112,資-3,資-4
	ビオトープ	びおとーぷ	14,22,23,30,32,45,46,54,56,70,71,73,89,94,95,108,109,112,資-1,資-2,資-3,資-5,資-20
ま	緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～	みどりせさくのしんてんかい～せいぶつたようせいのほぜんにもむけたきほんせんりやく～	8,11,133
	みなと環境にやさしい事業者会議 (mecc)	みなとかんきょうにやさしいじぎょうしゃかいぎ	50,66,73,98,116,125,資-4,資-7,資-9,資-22,資-41
	港区アドプト・プログラム	みなとくあどぷと・ぷろぐらむ	121,資-7
	港区環境基本条例	みなとくかんきょうきほんじょうれい	8,133
	港区基本計画	みなとくきほんけいかく	10,11,133
	港区地球温暖化対策地域推進計画	みなとくちきゅうおんだんかたいさくちいきすいしんけいかく	43,133
	港区にぎわい公園づくり基本方針	みなとくにぎわいこうえんづくりきほんほうしん	94,134
	港区緑と水の総合計画	みなとくみどりとみずのそうごうけいかく	8,11,94,110,112,134,資-14
	港区みどりを守る条例	みなとくみどりをまもるじょうれい	8,134,資-10
	ミレニアム生態系評価 (MA)	みれにあむせいたいけいひょうか	6,134
	木育	もくいく	64
ら	要注意外来生物	ようちゅういがいらいせいぶつ	37,134,資-39
	緑視率	りょくしりつ	14,63
	レッドリスト	れっどりすと	6,36,132,資-38
わ	ワークライフバランス	わーくらいふばらんす	64

刊行物発行番号 ●●●●● - ●●●●

この戦略で使用している図の背景には、東京都都市整備局及び株式会社ミッドマップ東京の承認を得て、東京都縮尺 1/2500 地形図（平成 23 年度版）を使用しています（利用許諾番号:MMT 利許第 039 号－17）。また、この図の無断複製を禁じます。

港区生物多様性地域戦略

－生物多様性みなとプラン－（案）

平成 26 年（2014 年）●月発行

発行・編集：港区環境リサイクル支援部環境課
港区芝公園一丁目 5 番 25 号 電話 3578-2111（代表）